

地震だ！津波だ！みんな逃げよう

鳥羽市では、巨大地震の発生に伴う大津波が想定されています。突発的な大地震が発生したとき、「揺れたらすぐ逃げる」を実践するため、市内全域で最寄りの『津波避難場所』などへすぐに避難する訓練を実施します。また、避難訓練後に一部地域で各種防災関連訓練も実施します。みなさん、ぜひ参加してください。

とき **11月9日(土)** 予備日 11月16日(土)

避難訓練 (午前9時ごろ～)

最寄りの市指定の「津波避難場所」または「まちで決めた避難場所」
※くわしくは、町内会・自治会などが回覧するチラシを確認してください。

そのほかの防災関連訓練

- 近畿日本鉄道による津波避難訓練 (午前8時30分～9時30分)
※11月9日(土)のみ実施。申し込みのないかたは参加できません。(受付終了)
- 自衛隊による訓練支援
人員搬送訓練 (午前9時40分～10時20分 城山公園)
AED使用・人員搬送訓練 (午前11時～ 旧小浜小学校付近)
土のう作成、人員搬送訓練 (午前11時～ 美台集会所付近)
- ドローン飛行実演 (午前11時～ 旧鳥羽小学校グラウンド)

総務課防災危機管理室

☎ (25) 1118

一人一人が備えてこ！

防災力UP！鳥羽

vol.77

昨年に実施した避難訓練の様子



最近「愛着(アタッチメント)」という言葉を目にしたり、聞いたりするかたも多いのではないのでしょうか。子育てしていく上で、優しい子に育ててほしい、友だちに恵まれてほしい、笑顔のまま大きくなってほしいなどさまざま幸せを願いますが、それら全てに共通するのが、人と関わる力ですよね。そこには愛着が大きく関係してくるよつです。

愛着とは特定の信頼できる大人にくっついて安心感を持つという意味だそうです。例えば、赤ちゃんが大きな声で泣くと、「どうしたの？」「おなかすいたのかな？」とそばに駆け寄りますよね。赤ちゃんの泣き声は「助けて」のサインです。泣いたら抱っこしてくれる人がいるという安心感を得ることがつぎ体験が、人を信頼する心を育てていきます。

また、子どもがこけて泣いた時、「痛かったね」と声を掛けるだけでなく、大人は自然と表情も痛い顔になつて共感していませんか。これは「感情の映し出し」と呼ばれる作業だそうです。子どもは大人の表情で、この感情が痛いや悲しいと知り、自分が共感してもらった経験があるからこそ、誰かが困っている時に「痛いね。大丈夫？」と声を掛けられる子に育つのだそうです。

今回紹介した愛着の話はほんの一部ですが、普段当たり前のようになっていることが、わたしたちが考えている以上に子どもたちの生涯に大きな役割を果たしていること知ることが大切です。人を信じる力を周りの大人みんなで大切に育てていきたいですね。

Vol.52

愛着
(アタッチメント)

みんなで子育て
だっこでほっと

子育て支援センター
☎ (25) 7225